

問

- ◎町長就任1年2カ月の思いを伺います
- ◎開発センター等の弾力的運用について
- ◎「追跡」町営サッカー場芝生化について
- ◎情報通信基盤整備条例撤去費用について



小籾侃一郎 議員

**質問** 就任1年2カ月の思いを伺う。

**町長** 基本的には、心がふれあう感動のまちづくりを推進していく。一つ目は、安心して住めるまちづくりで自然災害に備えた防災対策、人口減少、少子高齢化

に対応し、町民が健康で過ごすための保険、医療、福祉、教育施策の充実を図ること。二つ目は、農林業が元気で豊かな経験、自然を生かしたまちづくりを

やりたい。農林業の振興や農林業と商工観光業の連携による地域活性化、6次産業化のほか、町民全体の財産である歴史的資産や豊富な自然を生かした施策を展開すること。三つ目は、交流とふれあいのまちづくりです。誘客対策の実施による地域間交流の促進や人づくり、魅力づくり、活

力づくり活動への支援

等を行っていききたいと思えます。

**質問** 6月に第48回国ホテル研究会が本町で事例発表と懇親会会場に開発センターの利用を予定しています。

**町長** ただし書きにあるように、結婚式等、事前の許可を得た場合は飲食、飲酒は可能です。過去にも結婚式が行われています。健康増進施設も同様です。

**質問** 1年前の質問の「追跡」です。町営サッカー場の芝生化で利用範囲の広い使い勝手の良い総合運動公園施設等の提案をした。国の地方創正施策も踏まえ伺う。

**町長** 現在サッカー場として今年度利用者は2662人となっている。以前から、多くの要望も承知している。多くの利活用が考えられる。今後、芝生化を含め総合的に判断して

方向性を決めて進んでいきたい。

**質問** 全国的な人口減少、地方山村経済悪化等の中、当町も遊休農地、耕作放棄地の拡大や林業、茶業の衰退で

集落維持、生活環境にも、困難がある。例えば、里山移住留学や学校給食費無料化等々の思いがあります。特に少子化に対応した施策について町長の思い等を伺う。

**町長** 少子化の観点から考えますと、当町の合計特殊出生率は1.57と静岡県1.53を上回っていることから、決して子育て環境は劣っていないと考えております。いかに子育て世代を町に呼び込むかが少子化の鍵を握って

いると考えます。その点に着目した施策を展開していきたい。

**質問** 情報通信基盤施設条例の条項に、情報通信格差の是正と同列に防災情報システムの構築が入っていない。端末機設置完了した1年後に経費削減という名目で屋外スピーカーが撤去された事例が県外にあるか。

**町長** 防災の関係もあり、その様な事は絶対ないと断言していい。

**質問** 一人世帯514戸、高齢者のみ世帯525戸の数字がある。設置承諾書が500件余回収出来ない理由の一つに、後々支払義務が生じるかもしれない撤去費用の懸念があるが、伺う。

**町長** 条例では撤去費用を頂くようになっていますが、当然ながら防災の関係上設置も無料であり、撤去費用を頂



運動会を楽しむ幼児

答

- 今までを検証し人口減少、人づくり施策を進める
- 事前に許可があれば、飲食、飲酒は可能です
- 芝生化も含め方向性を決めて委員会等で進める
- 条例上は世帯負担があるが常用ではないと考える

く事はまずないだろうと考える。進捗状況は4月1日の運用開始に非常に危機感を持っている。



藺田 靖邦 議員

問

- ◎ICT利活用検討委員会の役割について
- ◎情報基盤、整備後の利活用について
- ◎東海BBサービス株式会社について
- ◎工事進捗状況について

**質問** ICT利活用検討委員会の役割について伺う。

**町長** 工事完了後に期待される高度情報基盤の利活用について検討していただく。各世帯に整備する告知端末機や整備されるネットワークを利活用し、この町が少しでも便利で暮らしやすくなるよう十分に検討していただきたい。この事業の財源としている国庫交付金は、インフラ整備だけではなく、その後の利活用が重要な交付条件とされている情報通信技術の利活用による生活の向上につなげてもらいたい。

**質問** 今後検討委員会から出される利活用プランについては、各担当課で十分協議して実現に向けて努力していただけるのか。

**町長** どこかで統括しないといけない。調整

**質問** 役も必要だと思う。若干の優先順位はつくかもしれない。統括的なところをつくるには、当然次年度前に対応していく。

**質問** 安部政権が強く押す施策、地方創生ICTを活用した地方創生について。利活用委員会でも検討していく利活用方法と地方創生を目的とするICT利活用の検討と財源確保について伺う。

**町長** 地方創生の関係が具体的にまだ決まっていないが、やはりモデル町として対応できるものを相当数計画しない限り財源はつかない。モデル的な事業を全国に先駆けて検討する必要がある。

**質問** 整備工事完了後の利活用について伺う。

**町長** 高度情報基盤整備事業は、町政懇談会でも繰り返ししてきたとおり最低限のインフラ

整備と位置づけ工事完了後に町民の皆様が必要とされる利活用のための機能をつけ加えていく考えである。

**質問** 今回整備される無線局、屋外スピーカーについても同様に維持管理する部署は企画課なのか防災担当とするのか。

**町長** 検討は各課で対応しなければならぬ。統括を企画課がいまやっているような形で進めたい。

**質問** 本年度の整備工事は最低限のインフラ整備との位置づけ、それ以降の利活用に関する予算措置、事業担当について伺う。

**総務課長** 平成27年度予算ヒアリングを今行っているが、企画中心にいろんな形で利活用を考え、ICT関連の予算は当初に出なくて補正等で上げていくことになるかと思う。

**質問** 保守点検とサービスに関する東海ブロードバンドサービス株式会社について伺う。

**町長** 町内に本社を設置することで提案時の約束を果たしていただいた。直接的な支援はできないがインターネットの環境づくり等、間接的支援また事業規模の拡大も努力していただき、当町の雇用の場の確保にもつなげてほしい。

**質問** 工事の進捗状況に関連してJアラート全国瞬時警報システムの必要性について伺う。

**企画課長** 今の工事の設計変更ではなく一つの事業として進める。当然速やかにできる形を検討している。

**総務課長** 非常に重要な位置づけと考えている企画課とも十分協議して同時進行で、ぜひとも進めるよう、お願いしている。

答

- 整備するネットワークを有効なものにしてほしい
- 町民の皆様が必要とする機能をつけ加えていく
- 運営事業者として事業の拡大雇用確保も期待する
- 少し遅れているが12月下旬から本格的に着手する